



9/30 SAT

10:00～11:30

山口の女性文学者たち —宇野千代と上野さち子—

名誉教授 福田 百合子

生誕 120 年の宇野千代、その多彩な生涯と山口の関わりについて語り合しましょう。上野さち子先生は同学の先輩ですから、つい「先生」と呼んでしまいます。俳句の実作と理論、研究を貫き、しかも夫唱婦隨の生涯でした。女性としての生き方を、両者それぞれ全うされた素晴らしさを、資料を手に採り、迎ってみましょう。

10/7 SAT

10:00～11:30

文学者としての新村出 —短歌、そしてやまぐち—

郷土文学資料センター 研究員 安光 裕子

著名な言語学者・国語学者であり、『広辞苑』の編者である新村出は、山口の地で生を受けました。文学者としての新村出については、ほとんど論じられていません。本講座では、短歌と随筆に焦点を合わせてお話をします。短歌から新村の一貫した信条、また随筆から、生まれ故郷山口への思いについて、一緒に考えてみましょう。

やまぐちの文学再発見

10/14 SAT

10:00～11:30

山口県立大学所蔵の 嘉村礒多資料を見る

郷土文学資料センター 研究員 加藤 禎行

山口県立大学郷土文学資料センターには、嘉村礒多ゆかりの資料が多く所蔵されています。今年度のサテライトカレッジは、山口県立大学が会場ですので、大学所蔵の資料をお見せしやすい環境です。そこで、嘉村礒多の旧蔵書や書簡・原稿、初出掲載誌等を見ていただきながら、お話したいと考えています。

10/21 SAT

10:00～11:30

鷺流狂言「千鳥」を読む

郷土文学資料センター長 稲田 秀雄

山口鷺流狂言は、長州藩狂言方であった春日（しゅんにち）庄作によって、明治期に山口に伝えられました。中でも「千鳥」は山口鷺流の特色が明確に認められる代表的演目です。その台本を読み、また舞台を映像で鑑賞することで、狂言の魅力を再発見してみましょう。鷺流狂言関係資料もいくつか展覧いたします。

山口県立大学サテライトカレッジ やまぐちの文学再発見

受講料

1,500円(全4回)

※部分受講も可能です

回数	1回	2・3回
金額	500円	1,000円

会場

山口県立大学南キャンパス
C館12教室ほか
(山口市桜畠3-2-1)



下記のいずれかの方法で

山口県立大学地域共生センター宛てお申込みください

講座開催の1週間前を目途に受講票を送付します

申込締切

平成29年9月20日(水)

※お申込みいただきました個人情報、本事業に関する用途以外の目的には使用いたしません

申込方法

【FAX・郵送】 下記申込書に必要事項を明記して送付してください

FAX番号 083-928-3021

住所 〒753-8502 山口市桜畠3丁目2-1 山口県立大学地域共生センター

【Eメール】 下記申込書の項目を明記してお送りください

manabi@yamaguchi-pu.ac.jp

【電話】 下記申込書の項目をお伝えください

電話番号 083-928-3495



申込書

ふりがな	希望の講座に○をご記入ください	
お名前		第1回 9/30 (土)
		第2回 10/7 (土)
ご住所 〒		第3回 10/14 (土)
		第4回 10/21 (土)
連絡先TEL		